

## 第14回見学会

平成27年5月13日

### 戸定邸と千葉大学園芸学部

心配した台風6号が十二日から急速にスピードをあげ、十三日未明には関東を通過し夜明けとともに快晴に恵まれた見学会当日、集合時間の九時四十分には参加者三十六人全員が揃い、担当の中谷幹事の挨拶の後、戸定邸へ徒歩で出発しました。戸定邸の茅葺門前に松戸シティガイドの女性三名が待機して下さり、早速三班に分かれて見学に入りました。当日は他の団体もいて先に千葉大学園芸学部の庭園を見学することになり、戸定邸の庭を回廊門（戸定邸と千葉大学を区切っている門で、通常ガイドがいないと通れません）へと向かいましたが、途中植えてある樹木の説明を受けたり、「ひなげしの小径」にある与謝野晶子の十八首の歌碑や与謝野鉄幹の歌一首の歌碑をガイドを受けながら見学しました。

千葉大学園芸学部で最初に見学したのが、「フランス式庭園」、ガイドがヴェルサイユ宮殿のお庭だと思って想像を逞しくして見て下さいとのことでしたが確かに庭の輪郭はフランス式なのでしょうが雑草が生えていたり整備が今一つで少々がっかりしました。次いで「イタリア式庭園」、青木が原から運んできたと言う溶岩で出来た「ロックガーデン」を見学しましたが手入れが今一つでした。千葉大学園芸学部は日本でただ一つしかない学部だそうです。明治四十二年創立の「千葉県立園芸専門学校」が前身で紆余曲折を経て今日に至り、現在は園芸学科等、四学科に分かれて勉強しているそうです。学生たちの前に食事と十一時に学生食堂で各自が注文して食べましたが、学生相手の食堂だけに値段は安く量もたっぷりでした。食事が終わって再び回廊門を通過して集合写真を撮ってから戸定邸へ。

戸定邸の戸定とは地名で最後の水戸藩主徳川昭武が明治十七年に建てられた二百二十坪程の一部二階建ての建築物です。上質の杉材を使った純和風の明治期の旧大家の住宅として全国的にも数少ない貴重なもので、現在国指定重要文化財になっています。建物内にはいろいろな部屋がありますが、ガイドの説明で身分の低い人の出入りできる場所は限定されていたそうです。また約七千坪に及ぶ庭園は芝生を使った洋風と丸い樹木の刈込の和風の二つの造園技法が混在する早い作例で千葉県指定名勝になっておりますが、「日本の歴史公園百選」にも選ばれています。最後に戸定歴史館を見学し、中村会長の挨拶の後散会しましたが、天候にも恵まれ楽しい一日でした。